



平成24年1月-2月号

# 杉の実だより

杉浦実業株式会社

大阪市東成区中本3-16-13 TEL06-6976-6194 FAX06-6976-3964

編集：杉浦勝昭

## ご挨拶

夢を見る。

完璧な世界、理想の社会、天国とか極楽とか呼ばれる世界の夢を見る。争い事がなく、安定した、充足した社会を夢見る。



だれにもなんらの不安がない世界を想像する。すべて前もって解決策が想定されていて、努力しなくとも事が成る世界のような。住民は穏やかで、これを幸福と呼ぶのだろうか。住人は楽（らく）そうだ。

確かに楽（らく）かもしれない。しかし、楽（たの）しいのだろうか。わくわくする瞬間はあるのだろうか。生きる喜びを感じるのだろうか。

なにか奇妙な歪さを感じる。

不安と安心、不安定と安定、不満と満足、不信と信頼、嫌と好。このような心の二律背反・二項対立を考えると、どちらも必要なのではないか、片方だけでは成り立たないのではないか、両者は相互依存しているのではないか、という思いに傾く。そして、20/80の有名な法則に結び付けてみた。不安20で安心80、不満20で満足80、このようなバランス状態が生き生き（活き活き）した状況・活性化した状態ではないか。心の重心（損益分岐点みたいなもの）は55-60となる。完璧な世界は息苦しくて棲みにくい（水清く・・・）。20の不満、20の不安を楽しむこと、これが遊びであり、余裕であろう。

さあ、目を覚まし、ストレスいっぱいの日常生活・現実社会に戻り、余裕と遊び心で、精一杯楽しんでみよう。



杉浦勝昭

## 銅蟲

すごいものを受け取りました。

広島私立大学芸術学部研究員の原田武さんは、金属造形で数々の賞を獲得していますが、このたび広島の伝統工芸品「銅蟲」を継承して、タンブラーを制作。それを贈ってもらったのです！

さっそく家から持ってきた柿と並べて、カメラマン気取りで写真を撮りました。

時間をかけて丁寧に打っていくので、このようなビール用タンブラーは一日作業しても1本つくるのが限度という値打ちものです。

事務所にお立ち寄りの節は、是非ご鑑賞ください。



## 一年間大学に戻っています

みなさんこんにちは！

元気ですか？ 私は去年5月から8月まで、杉浦実業で研修したブラール エディット（BLARD Edith）です。フランスに帰ってから、色々なことがありました。もちろん帰国したばかりのときは家族と友人に会いに行きましたが、その後「今年はどうするかな」と思っていました。今のフランスでは就職活動は厳しくなったので、大学に戻りました。プログラムのテーマは中小企業と貿易です。大企業は国際的にビジネスをしたかったら、簡単にできます。しかし中小企業だったら、国際的ビジネスでは問題が多いです。そのことを勉強するために、その大学のプログラムを選びました。

どうして、私が中小企業を選んだのかですが・・・ 大企業では全部できあがっていますので、私にとっては中小企業のほうが面白いと思うからです。



今は新たなインターンシップを探しています。マーケティングか、輸出と輸入か、コンサルティングか、全部国際ビジネスに関係がある研修をしたいです。今年の研修はフランスでしようと思いますが、日本のことを忘れませんので、就職活動をするとき、日本に関係がある仕事探しようと思っています。

ですから、また日本に行くはずですよ。そのときは、もちろん大阪に来ますので、よろしくお願ひします。

エディット・ブラール

## あと一步！！

東大阪市長田で企画をした建物「コンパクトスペースYK」が、2011年8月中旬に完成しました。4区画で1棟の建物になっていて、1階はフリースペース・2階は事務所そして前面に駐車場を完備した営業所タイプになっています。建物は様々な企業様が内覧して頂き、「皆さん良い建物ですね！」と言っては頂けるのですが、なかなか入居は決まらなかったです。が、ようやく3区画が決まり良い会社様と出会えたと私は思っています。

コンパクトスペースにはコンセプトがあります。それは、「夢に向かってモノづくり！踏み出そうここから！」です。建物は少しでも働く環境を良くし、働きやすい建物、働きたくなる建物を企画し創造していけば、街の活性化に繋がるのでは無いかと思っています。今年はずっと新しい建物を企画出来るように頑張ります。そして、この記事を読んで頂いている時には、コンパクトスペースYKが満室になるように頑張ります。



(ヨッシー)

## ボクシング

去る11月13日(日)にボクシングの試合を観に行ってきました。

会場は住吉区民センターです。久しぶりのボクシング観戦ということで期待を膨らませての会場入りです。

試合は計7試合でしたが世界戦やタイトルマッチというような大きなものではなく4回戦、8回戦といった選手の試合でした。しかし私の席は前から3列目というリングがすぐそばに感じるほどの位置なのでパンチの当たる音や選手達の息使いが聞こえるような場所でした。

とにかく迫力満点で試合中は私もなぜか息を止めて見入ってしまいました。

メインイベントは日本ミドル級5位の細川貴之選手とタイの選手の試合でしたが細川選手の鮮やかなKO劇で最後は締めてくれました。

約3時間ほどの観戦でしたが本当にあつという間に感じるぐらいの内容だったように思います。機会があれば次回もまた・・・。そんなことを考えながら会場をあとにしました。(虎)



## 我が友よ ~ありがとう~

1年半ぶりに、懐かしい仲間(セミナー『コトハナ』の大阪22クラスの仲間)からのメール。セミナー終了してから毎月22日に会っていた。何年か前には、「カニのごちそう」を恒例にして会っていた事も。カニにも夢中になりながら、飲んで喋って・・・年を忘れて、忙しい年末に向けてのエネルギー源となっていた。

ところが、今回は「ゆっくりと喋りたいので、カニは無しで」との1通から、1時間も経たないうちに、同じ仲間から次々と返信が届いた。受信ボックスには懐かしい名前が並び、私も嬉しくて返信。翌日には1週間後の日時と場所が決まった。

久しぶりにあった皆さんの眼は、「初めて会った時の輝きのまま」。年齢も職業も幅広い仲間。今では、年に1度になった同窓会だけど、会うと、尊敬し合い、互いの近況報告を聞きながら刺激になり、時にはこれからの自分の道標となるモノをくれる。会う事が大切と感じて、次回2カ月後の日時に各自「ハッピーニュース」をお土産に集まる事となった。



共通しているものは、やりきれない悩みや迷いにぶち当たっても、それぞれ乗り越えていける優しさや向上心、そしてそれをまわりに与えていく人・・・だと、今回特に思った。寒さを感じ始めた初冬の帰り道だったが、これからのエネルギー源とともに心から笑顔でホッと温かい気持ちになった。

(ノッポさん)

## 第7回杉の実サロン

平成23年11月17日 杉浦実業第三ビル2階会議室にて、木村・浦川・片山法律事務所の弁護士 木村達也氏に「弁護士として見てきたもの」としてお話をいただきました。

日頃は弁護士といった専門家と接触のない方々を含め30名ほどの出席者を前に、専門的な話とわかりやすい問題を織り交ぜて楽しくお話いただきました。話者は、サラ金問題でよく知られた弁護士ですが、40年のキャリアの中で離婚問題も多く取り扱ってきた経験(毎年10件として、計400のケースを取り扱ったことになるそうです)からのお話は男女の機微に触れ、人間洞察といった話題でした。

しかし、言葉の端々に正義感を強く感じさせ、われわれが社会や組織を考え、マスコミの情報をどのように判断すればいいか、といった点で、示唆に富むお話を伺うことができました。



## 不惑への準備

2012年への私の一言・・・

「不惑への準備」

何やねん？と思われ  
ました？論語で出てくる  
件を引用します。

私は、十五の時に  
学問で身を立てようと  
決心しました。

三十の時に、学問  
などの基礎がきちっと  
して、独り立ちができ  
ようになりました。

四十の時に、狭い見方に  
捕らわれることなく、心  
の迷いがなくなりました。

五十の時に、天が自分  
自身に与えた使命を自覚  
しました。

六十の時に、何を聞いて  
も素直に受け入れること  
ができるようになりました。

七十の時に、自分がし  
たいと思う言動をしても  
、人の道を踏み外すこと  
がなくなりました。

この論語で孔子が述べて  
いるこの有名な言葉、何  
故か昔から私の中の一定  
の指標となり、生きていく  
中での目標となる言葉で  
す、

40歳は「不惑」狭い見  
方に捕らわれることなく、  
心の迷いがなくなる様に  
、後二年しっかり地を見  
、人を見、自分を見つめ  
、少しでも私の理想とし  
る「不惑」へ近づける様  
、頑張りたいと思います。

しかし孔子はいいことを  
いうなあ・・・



## 初詣

皆様は初詣に行かれた  
でしょうか。

私自身の初詣の思い出を  
年代別に振り返ってみま  
すと、小学校迄は元旦に  
おせちを食べてから、家  
族で近所の歩いて行ける  
神社に行っていました。

中学校の時はクラブの仲  
間全員で大晦日の夜の1  
0時ぐらいに集合して、  
必勝祈願のお参りに春日  
大社に行って、その帰り  
に我が家で宴会していた  
記憶があります。

高校生になりまして、さ  
すがに家族と一緒にとい  
うのはなくなり、冬休み  
中バイトに勤しんでいて  
初詣らしきものに行った  
ということがなかったよ  
うに思います。

次に大学の時は年末～1  
月の5.6日までスキー  
に行って、これもまた初  
詣にいった感があります。

社会人になり結婚を経て  
現在にいたっては、正月  
は家内の実家の喫茶店  
の手伝いで、初詣の名所  
の近所であるにもかかわ  
らず、喫茶店で酔っ払っ  
ております。

こう冷静に振り返ってみ  
ると、中学以来まともに  
初詣というものをしてい  
ないみたいなので、今年  
は一度、初詣らしき初詣  
を試みようかなと改めて  
思いました。



(ならづけ)

## ドクターヘリ

最近よく話題になるテレビ  
でもおなじみの「ドクター  
ヘリ」、救急医療用ヘリコ  
プターのことである。わが  
国では、長ったらしい名  
の法律「救急医療用ヘリコ  
プターを用いた救急医療の  
確保に関する特別措置法」  
が平成19年に制定され、  
全国的に導入及び整備が  
進んでいる。文字通り、  
救急医療の専門医及び看  
護師が同乗し現場へ急行  
して、処置を行いつつ現  
場から医療機関への搬送  
が短時間でできる優れた  
ものである。

現在、全国で30機弱が活  
躍している（ドイツでは  
約70機）。ちなみに搬送  
は無料だとか。ただし、  
一般人が出動要請するこ  
とはできない。搬送協定  
を締結した市町村消防署  
、広域市町村圏消防本部  
、警察、役場等が出動要  
請することになる。

川崎重工とユーロコプタ  
共同開発のBK117、ユー  
ロコプタのEC135、マク  
ドネルダグラスのMD90  
2等が使用されている。

この運用では、拠点とな  
る病院の構内や隣接地に  
ヘリポートを用意する必  
要があるのは言うまでも  
ない。

医療機関が各自治体や厚  
生労働省からの補助金  
を受け、民間の航空会社  
との契約で運航を実施し  
ているようである。人の  
命には代えられないが相  
当の経費が必要なる。ま  
た、機動性はあっても夜  
間等気象条件にも大きく  
左右される。

しかし、この事業も認知  
が進み企業や各種団体  
からの支援も出てきてい  
るようである。

一人でも多くの人があ  
ることを願うばかりであ  
る。

最近、八尾空港で大阪府  
のマークのドクターヘリ  
と高知県の「アンパンマン」  
が描かれたドクターヘリ  
を見たので思わずパチリ。  
(ネブ)



